

群馬大学共同教育学部 教員公募

1. 職 名 准教授または講師（女性対象）
2. 募集者名称 国立大学法人群馬大学
3. 所 属 共同教育学部 国語教育講座
4. 業務内容
教 育
・ 大学院・学部学生に対する教育・研究指導
・ 担当授業科目
（教職大学院）国語科内容構成学、横断的・総合的な学習指導の理論と実践
A
（学部）日本文学概説 B、日本文学講読 C、日本文学演習 A、小学校国語、教
職実践基礎演習 等
（教養教育）古典文学への誘い

研 究
・ 国語教育学等の研究
管理運営・社会貢献
・ 共同教育学部・大学院教育学研究科の管理運営に関する業務
・ 共同教育学部・大学院教育学研究科が進める（社会貢献活動）への参画・
協力
5. 勤 務 地 前橋市荒牧町 4-2 荒牧キャンパス
6. 募集人数 1 名
7. 採用予定日 令和 8 年 4 月 1 日（以降のなるべく早い時期）
8. 専門分野 大分類：人文・社会
小分類：日本文学
9. 任 期 5 年
任期中に業績評価・審査を行い、適任となった者は任期の定めのない教員と
して雇用する。定年は満 65 歳の年度末とする。

10. 応募資格 次のいずれも満たす者
- (1) 修士の学位を有する者又はこれに準じる者
 - (2) 女性研究者
- ※ 本学における男女共同参画推進施策の一環として、男女雇用機会均等法第8条に基づき、女性を対象として公募を実施するものです。
- (3) 「7. 採用予定日」(令和8年4月1日)時点で、修士の学位取得後、12年以内の者
 - (4) 大学院、学部及び教養教育の講義・演習・研究指導を担当できる者
 - (5) 社会貢献業務、学部運営業務等に積極的に関われる方
11. 給 与 年俸制適用 退職手当あり
- 本学教職員就業規則及び2号年俸制適用教員給与規則に基づき、学歴・職務経験を考慮し基本給を決定
- ほか通勤・住居・扶養等の諸手当及び昇給制度あり
- 教職員就業規則
- https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022010.pdf
- 2号年俸制適用教員給与規則
- https://www.gunma-u.ac.jp/kisoku/pdf/chap_02/sec_0220/022085.pdf
12. 就業時間 8:30～17:15を基本として、専門業務型裁量労働制を適用
- (1日7時間45分働いたものとみなす)
13. 試用期間 6か月
14. 休日・休暇 土・日、祝日法に基づく休日、年末年始(12月29日～1月3日)
- 年次有給休暇、特別休暇等
15. 社会保険等 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険、労災保険
16. 受動喫煙防止措置の状況
- 敷地内禁煙(ただし、屋外指定箇所に喫煙場所設置)
17. 応募締切 令和7年6月27日必着
18. 提出書類 (1) 教員個人調書(本学所定様式)
- (2) 教育研究業績書(本学所定様式)
- (3) 最近10年間の科学研究費補助金等の受給状況(本学所定様式)

- (4) 公刊された著書・論文の現物(抜刷又はコピーの場合は掲載奥付添付)
5編以内
- (5) 教員養成課程における教育に関する抱負(1,000字以内 様式自由)
- (6) これまでの研究の概要及び今後の研究の計画(1,000字以内 様式自由)
- (7) 連絡票

19. 書類送付先 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地
群馬大学共同教育学部長 藤森 健太郎
簡易書留にて「国語教育講座教員応募書類」と朱書きのうえ、郵送願います。
ご提出いただいた書類・業績等は選考終了後に返却いたします。

20. 選考内容 書類選考の上、合格者に対し面接を実施
面接等実施に伴う旅費・宿泊費等の諸経費は応募者負担

21. 問い合わせ先 群馬大学共同教育学部国語教育講座 小林英樹
電話:027-220-7236
e-mail: hidekoba@gunma-u.ac.jp

22. その他

- (1) 応募書類に記載された個人情報、本選考以外の目的には使用しません。
- (2) 選考の進捗状況に応じて、提出書類の追加をお願いする場合があります。
- (3) 採用後は、入学試験業務を始めとする大学運営・学部運営の業務に参画していただきます。
- (4) 赴任後は前橋市又はその周辺に居住されることを希望します。
- (5) 群馬大学は男女共同参画を推進しており、業績(研究業績、教育業績、社会的貢献等)及び人物の評価において同等と認められた場合には、積極的に女性を採用します。
なお、女性研究者等に対する支援制度については、こちらをご参照ください。
(リンク先: https://kyodo-sankaku.gunma-u.ac.jp/support_links/)
- (6) 若手、外国人または海外経験のある日本人の採用を積極的に行います。
- (7) 若手研究者(採用年度の年度末年齢39歳以下)、女性研究者、外国人研究者については、研究環境を整備するための支援として、着任時に、スタートアップ経費を配分します。
- (8) 郵便事情もありますので、余裕をもってご郵送ください。